

北口番外篇  
P横丁的日乗  
ペンギン堂雑貨店咆哮

「大変ですよ鐘ヶ淵さん、遂に大塚にも出現しましたよ!」、「そんな慌ててどうしましたペンギンさん。ゴジラでも出ましたか?」、「いやゴジラは出ないけど、ハクビシンを見ました」、「ほほう、どこいらで見

たんです?」、「竹屋さんの少し手前、宮仲公園通りを横切る姿です」、「猫か犬じゃない?」、「絶対違います!時々ニュースで見るアレでした」、「大塚もそういう時代に入ったことですか」。余所事だと思いつ

でたことに近所で遭遇すると、それなりに衝撃は大きい。「そのうちクマも出て来すかねえ」、「フフフ、流石にクマは出ないでしょうな。飲み屋の街だから、トラは沢山でますけどね」。

「ハクビシンとは関係ないけど、はま寿司は出現しましたね」、「『は』しか共通しませんか」、「魚や一丁、北海道、北の家族…随分入れ替ってきたけど、どうなることやら」、「大塚で回転寿司といえば天下寿司ですよね」、「あそこは根強い人気店。最近外人さんも並んでいます」、「前は元禄寿司って名前が長くやってたなあ」、「はま寿司のビルはその昔、山海楼って大きな中華料理屋さんでね」、「懐かしい一家族の食事会とかクラス会なんかで使いましたよ」、「山海楼の真ん前が都電の停留所で」

「おっと鐘ヶ淵さん、時代を一気に遡りましたね。昭和三十年代生まれの大塚者にとつて、都電と言えば現荒川線ではなく、大塚〜錦糸町間を走る十六系統に決まってる。その頃から鐘ヶ淵さんが大塚にいたかどうかわかりませんが、

バンドライブやります!  
日程近日発表



江東区の楽しい  
美味しい情報がいっぱい

タウン誌  
深川  
Town Magazine Fukagawa



意外と沢山ペンギンいます

雑貨店  
ペンギン堂



ガラスのこなら  
ほぼお任せ

高野硝子店



毎月10日ごろ出ますよ

本の雑誌



あなたとわたしの  
演芸の友

東京がわら版

毎月二十八日を待て



編集後記のようなものというわけで、新年早々のPしんぶんでございます。昨秋唐突に復活したミニコミが無事年を越して、取り敢えずめでたい!しかも広告欄も二段になりました。けどまだまだ受け付けますよ。何なら別のページに漕り込ませりゃいいし、その方が新聞っぽいでしょう?そして次の目標はツ離れですんで、皆さん、呆れることなく読み続けて下さいまし。

大感謝配布協力  
池之端・古書ぼうろ  
う、雑司が谷・旅猫雑貨店、法善寺横丁・洋酒の店 路、目黒・ふげん社、浅草・珈琲アロマ、平井・平井の本棚、神宮前・シーモアグラス、大塚・山下書店。まだ募集中!



版元：東京ペンギン堂本舗  
豊島区北大塚2-26-1-1F



安心設計

コチョコウスレドモ  
ウソハツカナイ



安門広場の如き丸の内駅前をが

まで歩いての山手線で日暮里再び(面倒臭い)、みんな大好き常磐線に乗って南千住へ。改



てるけど、大丈夫かなあ。

いにしえより国家中枢の四方は堅固に守らねばならない。鬼門だけ押さえりゃいいってもんじゃない。ので東京もきつちり東西南北を冠する駅が守護神に守ってる…かどうかわからないけど、そういうことにPしんぶんが決めた。ので、お手軽にサクッと巡るのであります。



東と言えは東京駅。世界中から老若男女が集結する玄関口、やや集まり過ぎなこの駅を睥睨するのは、我らが鉄道のパ、井上勝。駅舎復原工事の時には、消滅か?と思っただけど、全日本鉄道の神様ですからね、一見天安門広場の如き丸の内駅前をが

の神様ってことでよろしく。道灌公の目線の先は、やっぱり江戸城ですかね?それとも地元民の憩いの場、メニユー豊富なニュートキーョー談話室(喫煙歓迎)かなあ?弓引いてるのが気になるけど、西日暮里駅名に敬意を表し、西日暮里

ご近所駅前東西南北守護神巡り

つちり守るのです。



線内回りにちよしての西日暮里…ではなく日暮里駅前の凛々しい太田道灌公って変だと思いでしようが、その設置場所が荒川区西日暮里なんだから仕方ない!という姑息な手段を使って、西





## 今日も銀座に行かなくちゃ…

### 見納め路地

ちょっと小耳に挟んだのですが、銀座の激狭路地は、お互いの裏口から出入りするために、建物同士が少しずつ引っ込んで作った人為的な通路だそうです。確かにほぼ私道みたいな狭路は、路地というより抜け道、もっと言えば獣道みたいな趣がありますよね。もし町内の仲間意識みたいなのが作らせた道だったら、やっぱり銀座も下町なんだなって思うし、虚実の詮索はしたくないと思います。

銀座の再開発は加速度を上げたようで、三愛が解体に入ったと思ったら、今度は銀座コアですって。外が見えるエレベーターは銀座では画期的でした。



若松側は銀座コアのようです。僕が気付いた時にはここだったけど、若松自体はビルができる前からここにいたと、母親や叔母が話してました。一軒家の甘味処だったって。子供の頃によく連れてって貰いました。不二家でパフェじゃなくて、こ

界隈ではおしゃれデザインビルの走りじゃないでしょうか？本屋さんが好きでしたね。何が偉いって、銀座で写真集『ペンギン日和』を延々置いてくれてたこと！ずっと売れなかったと言えばそれまでなんだけど、大好きな町で自分の写真集を売っているという事実が、どんなに嬉しかったことか…。

銀座コアとワールドタウンズビル、お互い変則敷地のビルの隙間に銀座アレイが出来た経緯は知らない。あの鉤の手のような路地が隙間なのか、どっちかの敷地なのかも分からないんですよ。ただ若松の住所がコアビル一階なので、すくなくとも若松側は銀座コアのようです。

ここであんみつを…。モダンなビルの不思議な路地の中、若松だけが昔のままって風情でした。コアの店舗が次々閉店し移転して、銀座アレイの店もシャッターを降ろし、若松も消えます。ワールドタウンズビルはどうなるか知らないのですが、共有部分ばかりの路地のゆく末も分かりません。でも片側は解体されるコアビル、路地も消えるのかなあ…、若松はどうなるのかなあ…。

小さな建物はまとまって大きなビルになり、建て替えが進むにつれて譲り合い路地は減っていきまます。でもひょっとしたら、何処かに路地が生まれるかも知れない。そんな淡い期待を胸に、今日も銀座に行くのです。



## ご近所駅前東西南北守護神巡り 銀の輔版



とは言うものの、何事も裏も表もあるが常。東西南北の表舞台で脚光を浴びる神様もいれば、隅っこでちんまり守る神様もいます。どっちかというの銀の輔は後者が好みだそう。僕もですけどね。

東京駅の丸の内側で胸を張る井上勝翁の風格あるブロンズ像と、八重洲通り通りの居酒屋の片隅で、看板に隠れて佇む二宮金次郎の石像とのロケーションの格差はどうかと思えますけどね、何と言っても徳を積んだ偉人、手本は二宮金次郎だから、きつとご利益ありますって。誰です、歩きス



マホのパイオニアと言のは？  
西日暮里に何故道灌公像があるかと言えば、例の「七重八重…」って和歌、落語・道灌の伝説の地だからです。やたら高所にある道灌公の脇にね、あの農家の娘さんがいるんです。山吹の花を差し出す姿です。若干小賢しい気がしないでもないけど、まあその時の道灌公が、ちと偉そうだったのかな？同じ落語の西行みたいなもんすか？でも偉い人だけじゃ世の中回らないってことですよ。だったらこの娘さん派ですね、僕は。

南千住と言えばバツハでしょうね。少なくとも僕はそう思います。毎年元旦にはバツハで初釜ならぬ初珈琲を喫するのが恒例行事なので。尾花だろって言う人もいるだろうし、小塚原の回向院だ栗友亭だ玉姫神社等々意見はあるでしょうが、泪橋、山谷とマクラを振っての矢吹丈と言ったら、向かう所敵なしですよ。アーケードが消えて明るくなり、かつての面影は希薄だ

けど、土手通り沿いのジョーは、当に守護神そのものです。

実は北千住の市場の横にも芭蕉宗匠がいて、南千住よりずっと前から立っているんだけど、なにせ駅から遠すぎちゃって…。なので軽い乗りのワンサ君に頑張って貰う魂胆です。そして裏守護神は更にノリノリのタコ滑り台。千住の良い子に大人気です。手が八本ありゃ、四方八方幸せ囲い込み放題。救いの手も多い方がいい。千手観音よ

北千住らしいよ。

